

総合計画(中期)策定に向け、平成30年3月に18歳以上の市民から無作為に抽選された2,000人にアンケート調査を行い、630人の方から回答をいただきました。その際いただいた意見や質問、提言などについて、毎月テーマごとに、市としての方針や考え方などをお知らせします。



今月のテーマ

名寄市の農業施策について

いただいた意見、
質問、提言など

「せっかくの農業地域、もっと農業に力を入れてください」

「地域の5年後、10年後を見据えて新規就労者を斡旋するなどしないと、農家の高齢化はどんどん進み、後継者のやる気も衰退してしまう。行政の力で後継者のいない農家へ新規就労者の仲介をして、その農家さんが土地や機械をそのまま譲り、次の世代に託すことができるシステムを作ってほしい」

「農業のヘルパーとして若い人材を集めてほしい」など

回答

離農や高齢化による農業の担い手不足、農家戸数の減少および労働力の確保は市としても大きな課題と認識しています。

本市の農業施策は、農業・農村振興計画に基づき関係機関・団体と連携しながら進めており、現在は第2次名寄市農業・農村振興計画(2017~2026年度)の期間にあります。

この計画の達成に向けて、昨年度は関連事業を見直し、新規参入者、農業後継者対策として、関係団体とともに支援を拡充したほか、新規就農者の早期安定や定着に向けたサポート体制の強化も図ってきており、引き続き地域おこし協力隊農業支援員を募集し、新規参入、第三者経営継承(居抜き継承)などの新たな農業者並びに農業後継者の育成・確保に取り組みます。

労働力の確保としては、短期的な労働力の確保に加え、農福連携などの可能性について農業関係者と福祉関係者との相互理解を深めていくとともに、双方が抱える課題解決に向けて調査、検討を図っていきます。また、今後は地域において将来的な担い手となる農業者を中心に地域内・外において農業者同士が連携・協力し、不足する労働力を補完しあえるような農業の姿も考えていく必要があります。

名寄市の農業を守るため、市としても必要な施策を検討してまいります。地域ぐるみで支える体制づくりに向け、市民の皆さまのさらなるご理解とご協力をお願いします。

参考

第2次名寄市農業・農村振興計画の方針

- 1) 収益性の高い農業経営の確立
- 2) 多様で持続可能な農業経営の促進
- 3) 農業の担い手の育成・確保
- 4) 人と自然にやさしい農業の推進
- 5) 豊かさと活力ある農村の構築

過去5年間の就農者数(夫婦就農は1人でカウント)

就農年度	就農者数	新規学卒	Uターン	その他	新規参入
H25	12	8	3	1	0
H26	6	1	3	0	2
H27	9	5	3	0	1
H28	12	5	5	1	1
H29	9	1	4	2	2
合計	48	20	18	4	6

▶ 次回のテーマ(予定) 道路整備について